

研修医評価表（糖尿病内分泌内科）

A：十分達成 B：ほぼ達成 C：やや不十分 D：全く不十分 NA：評価できない

評 価 項 目	研修医					指導医				
	A	B	C	D	NA	A	B	C	D	NA
患者の病歴を把握できる。										
患者の身体所見を評価できる。										
患者や家族の生活環境や価値観、感情などを把握できる。										
血液検査や尿検査、生理機能検査、画像検査などを依頼し、検査結果の評価が行える。										
患者の治療方針を把握できる。										
患者や家族にわかりやすく病状説明ができる。										
高齢者や要介護者などの退院後の療養生活での課題を評価する。										
入院診療サマリーを的確に作成することができる。										
カンファレンスなどにて受け持ち患者のプレゼンが行える。										
糖尿病急性合併症（糖尿病性ケトアシドーシス・高血糖高浸透圧症候群・重症低血糖など）の初期治療を理解する。										
糖尿病慢性合併症（網膜症、腎症、神経障害、大血管障害など）の評価が行える。										
患者の血糖測定値の状況が評価できる。										
糖尿病治療薬の特徴を理解し、処方する。										
インスリン製剤の特徴を理解し、インスリン導入や単位調整が実施できる。										
栄養指導や服薬指導、リハビリ、退院時の糖尿病療養指導をメディカルスタッフに依頼する。										
内分泌疾患の病態や、内分泌緊急症（副腎不全、甲状腺クリーゼなど）の初期治療を理解する。										
各種内分泌負荷試験を実施し、結果を評価できる。										